

遡上モニタリングの評価方法の検討（案）

- 1 評価の目的
河川工作物の改良による防災機能の保持を踏まえてサケ科魚類の遡上に及ぼす効果を科学的に検証
- 2 評価実施期間
改良当年（改良前） 改良後3年間
改良前の調査について、改良当年以前に利用可能な調査結果がある場合は、それを使用する。
- 3 評価指標
遡上量

産卵床数
- 4 評価基準
河川工作物による遡上阻害が実行可能な範囲で回避されていること。
- 5 河川工作物の改良効果の評価
改良前後における遡上率、産卵床数に基づき、専門家の意見を踏まえて評価する。
遡上率：対象河川内において河川工作物を遡上した親魚の割合
(但し、河川全体の親魚の数については、河川の本流を対象とする場合は河口より上流を、支流を対象とする場合は本流との合流より上流をカウントする)

参考

モニタリング調査計画

河川名	工期	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
赤イ川	H18～22		←	←	←	←	←	←	←	←
ピリカベツ川	H19			←	←	←	←	←	←	←
ルシャ川	H18		←	←	←	←	←	←	←	←
サシルイ川	H19			←	←	←	←	←	←	←
チエンベツ川	H20～21				←	←	←	←	←	←
羅臼川	H21～23							←	←	←

：改良工事（北海道森林管理局）

：改良工事（斜里町）

：改良工事（北海道庁）

↔：遡上モニタリング